

平成 25 年度実施 大網白里市住民協働事業 報告書

事業名	健康増進と介護予防のための笑いヨガを取り入れた「いきいき教室」全市展開事業		
事業主体	実施団体		市（関係課）
	NPO法人 住み続けたいまちづくりの会		高齢者支援課

事業費	予算額	決算額	市補助金額（交付確定額）
	357,000円	350,393円	300,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

- どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、
 ○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、
 ○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

団 体
<p>① 福祉各種施設、いきいきサロン、老人クラブ、各種団体、に対し協働の効果を挙げるため、専門団体と連携して、対象者に即した包括的な健康増進・介護予防を中心に、「いきいき教室」の中で、誰もが取り組みやすい「笑いヨガ」をツールとして導入。</p> <p>② 課題としては、介護保険事業で把握された、組織化されていない2次予防対象者いわゆる「特定高齢者」の行政の巡回移動「いきいき運動」に、全市普及活動による笑いヨガの導入は、精神活動の活性化とコミュニケーションの円滑化につながる。</p> <p>③ 笑いヨガリーダー1期生24名の誕生をみたが、協働事業として採択を受けた「民」の側としての観測では、残念ながら当初予定した通りの成果は上がっていない。その究極の原因は、協働事業遂行のミッションを共有しきれなかった、と言わざるを得ない。</p> <p>④ これは何によってそうなったか。 まず考えられることは、第1期生募集時ならびにオリエンテーション時に「協働事業の目的・協働事業の市のパートナーとして採択を受けたNPO法人『住み続けたいまちづくりの会の設立目的や理念』の説明が不十分であった」と、言わざるを得ない。 また、応募した市民の側に立てば、日本におけるボランティア活動の未成熟さによるのではないか。ボランティア先進国の欧米におけるがごとく、ボランティア活動の本義に立ち返れば、地域における支え合い運動に密着し、地域社会の真の発展につながっていくと思われる。</p> <p>⑤ 今回4月に予定している26年度笑いヨガリーダー2期生の募集に当たっては、1期生の育成方法の見直しをはかり、笑いヨガのスキルアップと実践活動を積み重ね、健康増進・介護予防の効果に寄与したい。法人としての説明責任を果たしていきたい。</p>

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<p>① 笑いヨガリーダーの育成⇒24名。</p> <p>② 市内における各種行事会場において、笑いヨガリーダーによる実践活動をおこなう。 (白里地区老人会。みずほ地区自治会。ロータリークラブなど)</p> <p>③シルバークラブでの笑いヨガ活動は、 3月28日の役員会にて笑いヨガ全市展開事業の支援体制を検討する。</p> <p>④その他、市、社協に係る諸行事に参加。 ●次期2期生の育成にあたっては、募集時に応募者に対し、市や町サポ、その他の諸団体の推薦を得たい。 何よりも大切なことは本人の自覚と、より専門性を持った人材の確保に繋がりたいと考える。 ●2期生リーダーの育成にあたっては、募集時に、市や社協、その他の諸団体の推薦を得たい。こうすることにより、人材育成に無駄を最小限に抑えられる本と考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業、研修等実施場所の確保 ・ 事業、研修等周知支援（広報掲載等） ・ 関連団体等との調整 ・ 団体作成文書の支援 ・ 事業実施内容等の協議、支援

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p><input type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <u>概ね適正であった</u></p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)</p> <p>この点については、法人として、初めての事業であり暗中模索の中で進めてきたので25年度育成で経験した事柄を精査し、今後の発展につなげていきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)</p>

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
別紙の通り。 [NPO 事務局が時系列により作成した]	

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

団 体
繰り返し、笑いヨガ活動の実践により、少しずつではあるが、笑いヨガも市民権を得つつあると考える。 思えば、息の長い活動ではある。

また、その結果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 強化、活性化した <input checked="" type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) 笑いヨガ活動自体が、まだ十分な市民権を得ていない。とにかく笑いヨガ活動に各人が自主的に参加し、自身の健康のために必要な事だと認識するまで行かなければならないと考える。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団体
<p>協働事業とは、当事者が、自分の得意分野において、その事業のために力いっぱいの努力をすることが必要であろう。</p> <p>協働事業に対する思い込みに、それぞれ違いがあるように思う。</p>

市（関係課）
<ul style="list-style-type: none"> ・市が協働することで、主体団体とその他の団体との連携、調整ができた。 ・主体団体の組織としての取り組みがあれば、更に効果的であったと考える。

また、その協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由)	<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由)